

専門委員会紹介

【大学ポータル専門委員会】

大学ポータル専門委員会では、学務情報、広報、教育コンテンツだけでなく、メールやスケジュール帳、コラボレーションツールなどを統合し大学構成員ひとりひとりに合った形で提供することができる「名古屋大学ポータル」に関する検討を行います。情報システムの多様化・複雑化に伴い、学内のさまざまな情報・サービスへのアクセス性が悪化しています。大学ポータル専門委員会では、各部局・情報メディア教育センター・附属図書館・事務との連携を通じて、シングルサインオン環境（1つのアカウントで学内の他の情報システム・コンテンツにアクセスできる環境）を実現し、必要な情報を必要なときに必要な人に提供／取得できる情報基盤の構築を目指しています。

【学術情報開発専門委員会】

情報技術の急速な進展に伴い、学術情報の表現形態や収集、配布手段が高度化かつ多様化しています。学術情報開発専門委員会は、学術情報のデジタルアーカイビング、学術情報発信サービスの提供及び、情報基盤に基づく教育研究推進の支援について必要な調査及び審議を行うことを目的としています。専門委員会の活動は、附属図書館を始めとする学内の関係部局と密接な連携を保ちながら進めていきます。

【ネットワーク専門委員会】

情報ネットワーク専門委員会は、情報連携基盤センター運営委員会の下に作られた委員会です。この委員会は、名古屋大学の情報ネットワークの運用と技術に関する事項を審議する役割を有しています。情報ネットワークは、ブロードバンド（高速ネット）、ユビキダス（いつでも、どこでもコンピューティング）、セキュア環境（不正アクセスやウイルスへの対策）などの課題を常にかかえています。センターとしてやるべきことを、この委員会がしっかりかじ取りします。

【全国共同利用システム運用専門委員会】

全国共同利用システム運用委員会は、情報連携基盤センター運営委員会及び全国共同利用連携委員会の下で、全国共同利用であるスーパーコンピュータ及び汎用コンピュータの運用や利用に関することがらを検討するための委員会です。全国の利用者の声を参考に、より使いやすい大規模計算環境を目指します。

【広報専門委員会】

広報専門委員会は、情報連携基盤センターから、学内外の利用者にセンターからの情報を届けるための委員会です。センターニュースや速報，Web等の複数のメディアを通して，情報基盤の利用等に関する最新の情報を届けるべく活動します。

【ユーザサポート専門委員会】

情報基盤の利用に関する利用者の声や相談を受け付け，整理，集約する機構を，システムチックに整備し，利用者をサポートするために必要サービスを企画・立案・実行していきます。従来のプログラム相談は，この委員会の下で，IT相談として，オンライン，対面相談ともに拡充して活動していきます。